

主な内容

- 1 P. みんなが笑顔で楽しんだ!! 秋季大運動会
- 2 P. 第40回一中地区コミュニティまつり開催
- 2 P. 新しい広報紙作り
- 3 P. 1中コミセンによるごそ
- 3 P. 私の小さいころ・地域のわだい
- 4 P. 私の撮っておき!!・部会だより

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/山田 俊 ●編集/広報委員会

みんなが笑顔で楽しんだ!! 秋季大運動会

～一中地区地域のふれあいを広める会～

10月5日、秋晴れのもと第31回一中地区秋季大運動会が、長堀小学校グラウンドで開催されました。高齢化などで参加者が減る中、みんなで楽しめる7競技を実施。8自治会が参加し、金上自治会の優勝で幕を閉じました。



開会式



心を一つに



輪投げリレー



勝田駅前南自治会



中根自治会



玉入れ



ゲツ圧測定



未来へダッシュ



三世代ピン倒しリレー

順位と得点		
自治会	順位	総合得点
金上	1	24
勝田駅前南	2	20
西中根	3	19
三反田	4	16
大平	5	16
笹野	6	13
中根	7	13
勝倉	8	9

同点の場合は、高得点の競技数で順位を決定



金上自治会が優勝



勝田一中生がサポート

第40回 一中地区コミュニティまつり 開催



11月8・9日「一中地区コミュニティまつり」が開催されました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、多くの方々にご来場いただき、大変賑わいました。途中から雨も上がり、屋外の体験コーナーや模擬店には長い列ができました。館内では各サークルの皆さんによる作品展示が行われ、来場者の目を楽しませていました。

また、勝田一中生と勝田工業高校生も参加して、まつりを盛り上げてくれました。

今までご愛読いただきいたい
た方々はもちろん、広報紙に
馴染みの薄かった方々にもぜひ
身近に感じていただき、
意見とご指導をいただければ幸
いです。これからもよろしくお
願いします。

今年度から委員長を務めて
います。今までの広報委員の
経験をもとに、次の2点を念
頭に、新たな広報紙作りを推
進してまいります。
① 目に留まり、手に取りた
くなる
② 読んで楽しく、親しみを
持つともらえる
①では写真等によるビジュ
アル化や、例えば字を大きく
して読み易くする等の編集上
の工夫をします。②では今ま
での内容に加え、ふれあいの
会の活動状況や、地域の方々
から身近な出来事・写真等を
募り、掲載していきます。



新しい広報紙作り
広報委員会 委員長
有賀 正記



今年は戦後80年の節目の年であり、私の戦争体験を語つておくるのも大切ではと思い、自治会長さんの勧めもあり、筆をとりました。

戦中、私は東石川小学校に入学しました。校舎には病気の兵隊さんが入り、私は何時も持ち歩いていた防空頭巾をお尻に敷き、学校前の山林で勉強していました。木の葉っぱから毛虫が頭に落ちてき、「イヤー」と騒ぐと、先

年は戦後80年の節目の年であり、私の戦争体験を語つておくるのも大切ではと思い、自治会長さんの勧めもあり、筆をとりました。

戦中、私は東石川小学校に入学しました。校舎には病気の兵隊さんが入り、私は何時も持ち歩いていた防空頭巾をお尻に敷き、学校前の山林で勉強していました。木の葉っぱから毛虫が頭に落ちてき、「イヤー」と騒ぐと、先

年は戦後80年の節目の年であり、私の戦争体験を語つておくるのも大切ではと思い、自治会長さんの勧めもあり、筆をとりました。

戦中、私は東石川小学校に入学しました。校舎には病気の兵隊さんが入り、私は何時も持ち歩いていた防空頭巾をお尻に敷き、学校前の山林で勉強していました。木の葉っぱから毛虫が頭に落ちてき、「イヤー」と騒ぐと、先

年は戦後80年の節目の年であり、私の戦争体験を語つておくるのも大切ではと思い、自治会長さんの勧めもあり、筆をとりました。

戦中、私は東石川小学校に入学しました。校舎には病気の兵隊さんが入り、私は何時も持ち歩いていた防空頭巾をお尻に敷き、学校前の山林で勉強していました。木の葉っぱから毛虫が頭に落ちてき、「イヤー」と騒ぐと、先

大成町自治会
笹崎 貞子 (89)

そんな中、一番怖かった記憶は昭和20年7月17日深夜から18日未明、勝田町を襲った艦砲射撃です。私の家では次兄が会社から「今晚、艦砲射撃がある」と聞いてきて「新しい服を着て寝る」と突然、夜、ドカーンと耳をつんざくと聞きました。

戸工場や日立兵器会社(旧日立工機)を狙って真横に飛んでくる砲弾が、住宅地にたくさん落ちてきました。近所の防空壕には大工さんと男の子が避難したのです

が、砲弾が直撃。翌日2人を探しましたが何も見つかりませんでした。長兄は夜勤から帰つて「みんな元気か」と声をかけてくれました。私は「元気だよ」と返しました。私のいた防空壕は兵隊さんが造つてくれ、近くには兵隊さんの馬に跨つた偉い人が2人、兵隊さんの様子を見に来ています。

昭和24年、私は小学校を卒業し、勝田町立勝田中学校に入学しました。場所は今の自衛隊の所で、下駄箱で区切り、所で勉強していました。その後は新しい校舎が今の勝田一中の所で、下駄箱で区切り、遊びはメンコやベーゴマ・コマ回し・釘刺し・オハジキ・お手玉等で、何もない時代でした

が子供心にホツとした記憶も残っています。

私の小さいころ

艦砲射撃の記憶



生に注意された思い出があります。また当時は、家から野菜を持っていくと調理され給食が出るという状況でした。

一中コミセンによるこそ



打越 勇夫さん (71)

「一中地区地域のふれあいを広める会」事務局長と、「1中地区コミュニティセンター」副センター長を務めている打越さんに話を聞きました。



打越さんは、勝田一中出身で中学・高校と野球部でピッチャーを務め、大人になつてからは大平ソフトボールチームの監督を引き受けたなど、活動的な方です。今の趣味は、定年になってから始めたゴルフだそうで、個人でゴルフ場に行ったり、体育部会主催や市民ゴルフ大会・その他のチャリティーゴルフ大会に出場したりと、楽しんでいます。

1中コミセンには4年前から週3日、職員として働き始めました。また、2年前からは1中コミセン副センター長・防災管理責任者も務めています。

1中コミセン管理運営も責任ある仕事ですが、一番気を使うのは会の行事(運動会・コミュニティまつり・芸能音楽祭)。どうしたら部会員や地域の皆さんの協力が得られ、もっと多くの方に楽しく参加してもらえるか、他のコミセンから情報を得たり実行委員にアンケート調査をしたりして、考えています。忙しいけれど行事が無事終了した時は、ホッとする瞬間。来年もっと良くするにはどうしたらいいかを、また考え始めます。

楽しい行事になるように、皆さんもぜひご参加をお願いいたします。最後に、打越さんより一句

皆集い心一つに丸となる 地域の力満月になり

佐々木 研二さん (82)



佐々木さんは、シルバー人材センターにより派遣され、1中コミセンで働くのは7年目になります。同センターより派遣された他3人の方と交代で平均週3回程度、平日の17~21時と土・日の窓口業務や施錠等を行っています。

多くの趣味を持ち、1中コミセンで活動している墨遊会では水墨画を、週3回はグランドゴルフを行い、月1回は市グランドゴルフ協会主催の大会に出場。その他の時間は、好きな山野草を育てながら庭木の手入れなどに忙しい毎日。

実は、奥様をガンで亡くされ、ご自身もガンを経験されて、がん患者の会「茨城よろこびの会」に参加し、健康に関する書籍を数多く読んで、体に良いと言われる食事や運動は何でも試されたとか。自分の体に合った発酵玄米食とステッキ2本を持ってのウォーキングは、今も続けているそうです。

小柄な佐々木さんですが、本当に元気で、年齢を感じさせないバイタリティーがあります。「コミセンで働いていると、いろんな方と話ができる新しい知識と元気がもらえる」と楽しそうに話していました。

地域のわだい

響け歌声！芸能音楽祭

東中根団地自治会

東中根団地自治会には、数多くのサークルがあり、それぞれが大変活発に活動しています。その中の一つ「高齢者クラブあずま会」のメンバーが、「一中地区地域のふれあいを広める会」主催の芸能音楽祭に毎年参加しています。あずま会会員だけでなく、広く自治会会員にも参加を呼びかけ、会員相互の親睦にも繋がっています。

レパートリーは、季節の歌や童謡、英語の歌など78曲以上あり、これまで様々なジャンルの曲を発表してきました。

本年度の芸能音楽祭でも、市の文化会館でちょっと緊張しながら笑顔で心の歌声を響かせます！



